

平成31年3月5日
総合政策局安心生活政策課

思いやりの心を持ってトイレを利用しましょう！

～多機能トイレ利用マナー啓発キャンペーンを実施します～

国土交通省では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催 500 日前を契機として、多機能トイレの設備や機能を真に必要な方が必要な時に利用できるよう、3月12日から4月13日まで多機能トイレの利用マナー啓発のキャンペーンを実施します。

○多機能トイレとは、車椅子使用者、オストメイト、乳幼児連れの方等が利用するための設備など様々な機能を備えているトイレです。

○一般トイレを利用できる方が、多機能トイレを長時間利用することにより、真に設備や機能を必要とする方が利用できないことがあるなどお困りの声が寄せられております。

○東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、バリアフリー化を推進していますが、同時に心のバリアフリー化も進めて行く必要があります。その取組の1つとして、ユニバーサルデザイン 2020 行動計画（平成 29 年 2 月関係閣僚会議決定）に基づき、多機能トイレの利用マナー啓発のキャンペーンを実施します。

記

1 キャンペーン期間

平成31年3月12日（火）（東京オリンピック競技大会開催 500 日前）
～4月13日（土）（東京パラリンピック競技大会開催 500 日前）

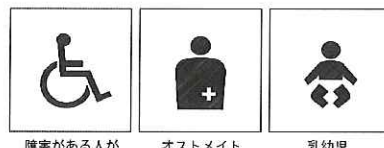
2 キャンペーン内容

- ・公共交通事業者、空港ターミナル会社、高速道路会社、地方公共団体等のご協力の下、ポスターの一斉掲示及びチラシの配布（別紙）
- ・国土交通省の公式ツイッター等を活用し、キャンペーン実施の周知

～多機能トイレの表示例～



※便房設備の表示例



障害がある人が
使える設備

オストメイト

乳幼児

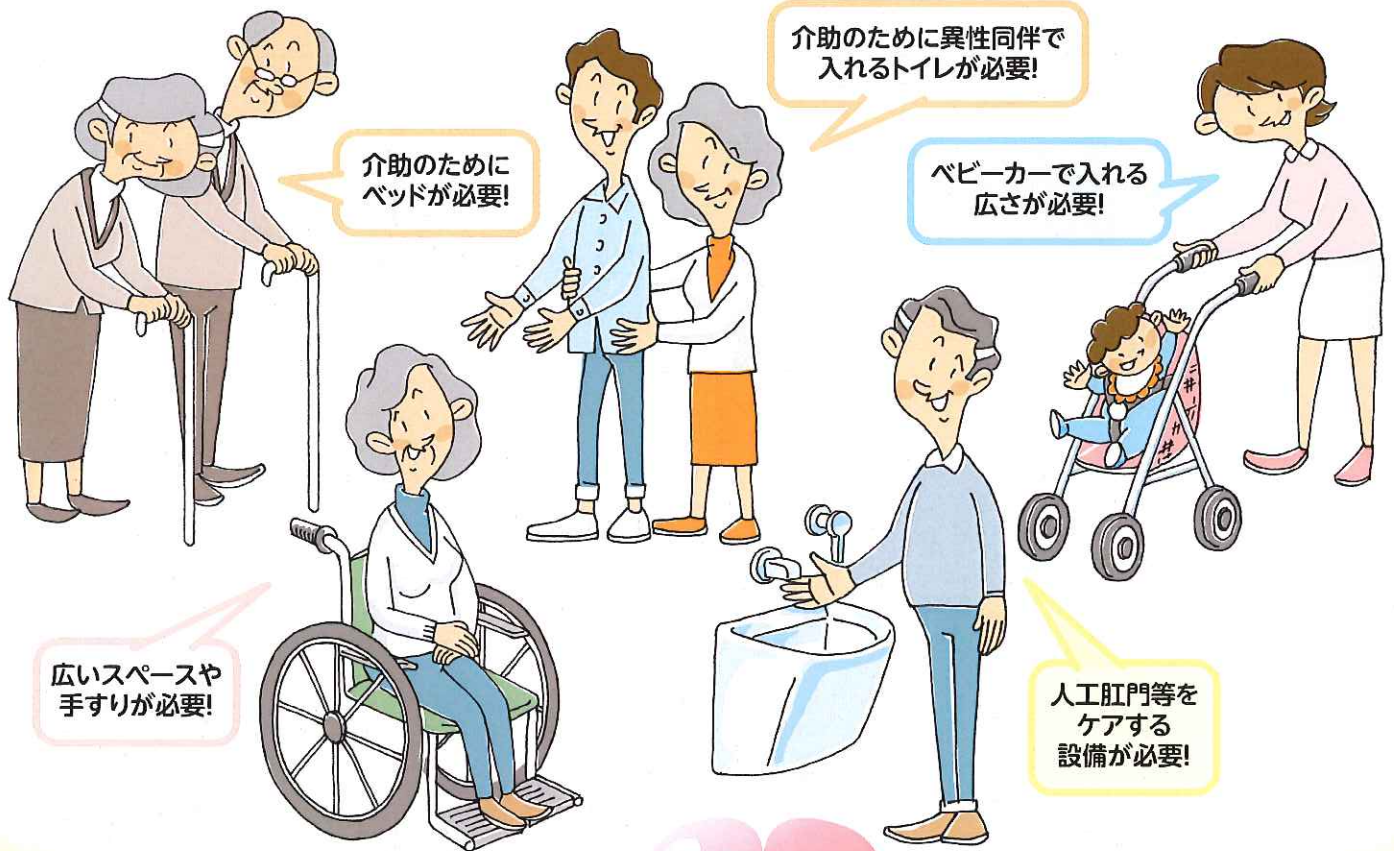
<問い合わせ先>

国土交通省総合政策局安心生活政策課 担当：吉澤、吉田

TEL：03-5253-8111（内線 25-523, 25-518）, 03-5253-8307（直通）, FAX：03-5253-1552

一般トイレを利用できる方が、多機能トイレを長時間利用することは控えましょう!

多機能トイレしか使えない人達があります。



思いやりの心を持って トイレを利用 しましょう!



- 多機能トイレが使用中だと、他に使えるトイレがなく待つことになります。
- トイレ内の閉ボタンを押してから外に出しまうと、施錠されてしまいます。

多機能
トイレの
困りごと



- おむつ替えシートがたたまれていないと、車椅子使用者は自分で出入りできないことがあります。

多機能トイレ

一般トイレ付近にある男女共用トイレで、いろいろな設備を備えており、真にその設備を必要とする方の利用が優先になります。

多機能トイレにある設備は このように使われています。

オストメイト (人工肛門等保有者)

- ・パウチ (便をためておく袋) から排泄するために汚物流しを使用



車椅子使用者

- ・車椅子を回転できる広いスペースが必要
- ・便器に移乗するために手すりを使用



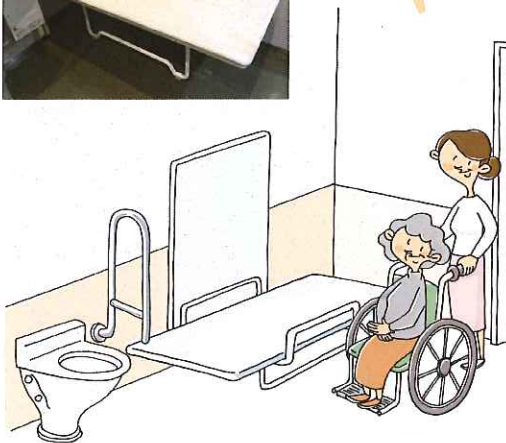
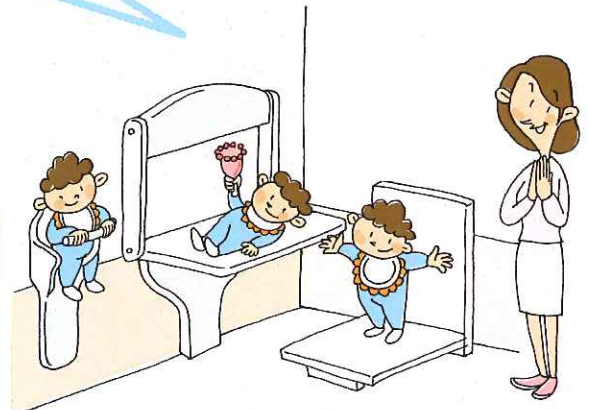
子供連れ

- ・ベビーカーで入るために広いスペースが必要
- ・子供を座らせるためにベビーチェアを使用
- ・おむつ替えをするために、着替え台やおむつ替えシートを使用

介助が必要な人

- ・介助者も一緒に入れる広いスペースが必要
- ・見た目には分からなくても、例えば大人であっても、介助が必要なために異性同伴で入れるトイレが必要
- ・介助をするためにベッドを使用

トイレ利用に
時間がかかることも



設備を必要とする、さまざまな方が利用します。
お互いを思いやる心を持って利用しましょう。

発行：国土交通省総合政策局安心生活政策課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 電話 03-5253-8111